

埼臨技だより

発行所 埼臨技 埼玉県臨床検査技師会

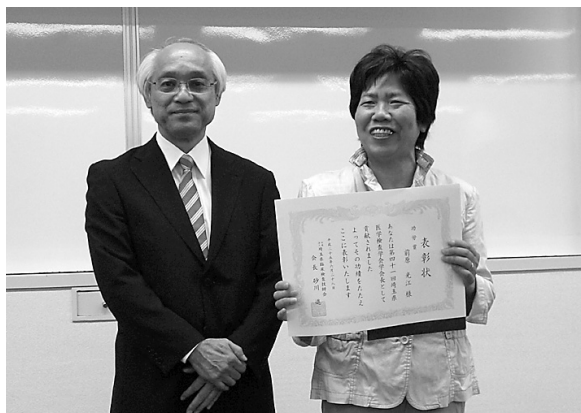
〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7 TEL 048 (824) 4077 FAX 048 (824) 4095

URL:<http://www.sairingi.com/> 携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

平成25年度第1回通常総会 開催される

平成25年度第1回通常総会が平成25年6月28日(金曜日)大宮ソニックシティ906にて開催された。本通常総会の議案審議内容は、平成24年度事業報告、収支決算報告、監査報告、第43回埼玉県医学検査学会学会長選出、公益社団法人埼玉県臨床検査技師会定款変更についてであった。

総会は矢作強志事務局次長の進行で、砂川進会長の挨拶で始まり、つづいて小崎繁昭名誉会員の紹介があった。



埼臨技功労者表彰

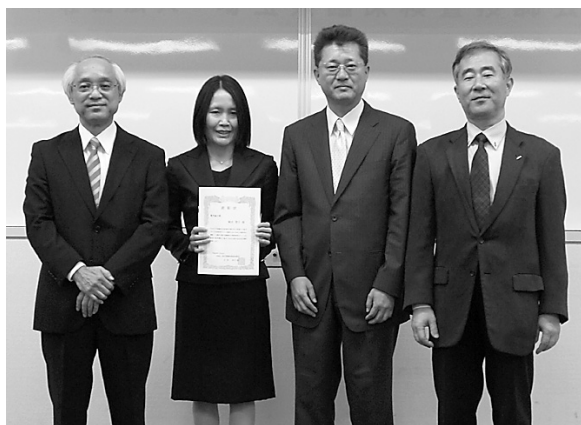
次に各賞表彰式が行われた。平成24年度埼臨技功労者表彰は前原光江氏に授与された。今年度の永年会員表彰は25名の会員が受賞され、代表して武関雄二氏(自治医科大学附属さいたま医療センター)・永野栄子氏(獨協医科大学越谷病院)・逆井悦子氏(埼玉県立小児医療センター)の3名が表彰された。次に小関紀之学術部長より平成24年埼臨技会誌 優秀論文賞の発表があり、鯨井智子氏(浦和医師会メディカルセンター)の論文「さいたま市肝炎ウイルス検診におけるHCV陽性率の調査 — 浦和・与野・岩槻地区の検診結果より —」が受賞された。受賞された方々に謹んでお祝いを申し上げたい。受賞式の

後、小崎名誉会員からの目録贈呈があった。

通常総会は議案審議に先立って飯田眞佐栄氏(株式会社 アムル)が議長に選出され、飯田議長の進行により総会役員が指名された。資格審査委員長に奈良豊総務副部長、資格審査委員には東部地区から永野栄子氏(獨協医科大学越谷病院)、南部地区は穴原賢治氏(上尾中央総合病院)、西部地区は山本英俊氏(株式会社 BML総合研究所)、北部地区は原誠則氏(壮幸会行田総合病院)が任命された。また、書記に佐野悦子氏(浦和医師会メディカルセンター)、武藤由里子氏(医療生協さいたま生活共同組合川口診療所)、議事録署名人に手塚康晴氏(さ



永年会員表彰



埼臨技会誌 優秀論文賞

いたま市立病院)、小松正人氏(さいたま赤十字病院)が任命された。飯田議長より「18時30分現在の出席者数82名、委任状出席者数1,700名、合計1,782名は、第1から4号議案を審議するための必要者数である全会員数2,226名の過半数及び第5号議案定款変更に必要な4分の3を超えており本総会が成立している。」と宣言された。

議事審議は、まず奈良資格審査委員長より議事日程が提案され、それに沿い飯田議長の進行により平成24年度事業について砂川会長、津田聡一郎副会長、神山清志副会長から、収支決算について島村益広会計部長から、監査については遠藤敏彦監事より報告

があった。質疑等はなく満場一致で議案は可決された。その後、第43回埼玉県臨床検査技師会学会長について砂川会長より袴田博文氏を推薦する旨の提案があり、全員異議なく承認され袴田氏が挨拶を行った。

最後に公益法人埼玉県臨床検査技師会定款変更について神山副会長による詳細な説明が行われ議案審議後全員異議なく満場一致で可決された。これにて飯田議長と総会役員、出席者の協力により、すべての通常総会議案進行は滞りなく終了した。

引き続き、第42回埼玉県医学検査学会副実行委員長松岡優氏より演題募集に関して、神山副会長より日臨技精度保証施設認証に関して、また、津田氏より参議院選挙の立候補者に関してそれぞれインフォメーションがあった。

本年度より理事に就任させていただき、初めての総会出席でした。準備をお手伝いしようにも何もわからずうろろするばかりでありましたが、先輩理事・監事の皆様による迅速かつ的確な準備には敬服しました。その後の飯田議長による円滑な進行と出席して下さった会員の皆様の御協力により滞りなく閉会することができました。改めて御礼申し上げます。

(文責：長岡勇吾)



埼玉県臨床検査技師会「ロゴマーク」募集!!

===趣旨===

当技師会は本年3月で創立60周年を迎えました。長年にわたり、県民の健康増進と臨床検査の進歩・発展に寄与し続けています。ただ今、公益法人取得にむけ申請作業をすすめています。この機会に技師会を広く一般にアピールするために、当会イメージを表現したロゴマークのデザインを募集いたします。

当会で使用する徽章や印刷物等に使用するロゴマークを募集いたしますので、奮ってご応募ください。

===応募要領===

1. 応募資格：技師会員だけでなくどなたでも応募できます。
2. 最優秀賞 1点 賞状と当会規定による副賞
優 秀 賞 2点 賞状と当会規定による副賞
※ 受賞者が高校生以下の場合は、副賞は相当の図書カードを贈呈する。
※ 団体の場合は、代表者に授与する。
3. 応募規定
 - 1) 応募点数は、1人（又は1グループ）3点までとします。
 - 2) 応募作品の規格等
 - ・ A4版用紙（白色でケント紙等厚みのある用紙）に天地左右3cmの余白を取った範囲内にデザインして下さい。又、余白に天地を明記して下さい。
 - ・ 作画はPCソフト使用又は手書きによるものとし、色彩は自由です。
 - ・ デジタルデータで作成の場合、ファイル形式はGIFまたはJPEG形式とし、1作品5MB以下とします。
4. 応募方法
 - 1) 郵送の場合は、応募用紙に住所、氏名、職業、年齢、電話番号、E-mailアドレスをご記入のうえご郵送下さい。
 - 2) 電子メールの場合は、ファイル形式をGIFまたはJPEG形式とし、下記応募先（連絡先）のアドレスにお送り下さい。
5. 応募〆切：平成25年9月30日（月）
6. 選 考：当会理事からなる選考委員会で行ないます。
7. 発 表：受賞者には電話又はE-mailで連絡します。また併せて当会HP上で公表致します。

今学会のテーマは『匠』です。私のひとり言になりますが・・・

私が就職した頃の先輩技師や実習先でお世話になった方々を思い出してみると、非常に豊富な知識や経験を持ち、色々な事にこだわりを持っていた、それこそ『匠』を感じさせる技師さん達という印象でした。ただ時代の流れもあり、現在では残念ながら自分を含めて『匠』の技を持っている、持とうとしている技師は、特に若い技師に少ないように思います。今回の学会を通じて少しでも『匠』を目指す技師が増えることを、心から願っています。

では12月1日(日)実行委員一同大宮ソニックでお待ちしております。

抄録登録時の注意点について

会員の皆様におかれましては、円滑な学会運営にご協力いただきまして、感謝しております。また、多数の演題登録をいただきまして、誠にありがとうございます。

皆様にはこれから抄録登録を行っていただくこととなりますが、その際の注意点を簡単にまとめてみましたので、ご参考になさってください。

最初に、演題登録のために必要な情報を、手順に従い入力してください。その後、抄録の応募方法Web入力（テキスト文+画像）もしくはWeb入力（Wordファイル）のどちらかを選択してください。

○Web入力（テキスト文+画像）の場合、Step1～Step4の手順で登録を進めてください。

Step3の「抄録（PDF）の確認」は必ず行ってください。

演題名や筆頭演者名、施設名などは自動で入力されます。

○Web入力（Wordファイル）用の場合、Step1～Step4の手順で登録を進めてください。

また、抄録テンプレートを使用して、抄録をアップロードしますが、演題名は自動では入力されませんので、抄録テンプレートの「演題名」の箇所に必ず演題名も入力してください。（筆頭演者名や施設名などは自動で入力されます）

また、JAMTISログイン後にも表示されますが、Internet Explorer10で抄録を登録すると、入力したテキスト文をPDFに正しく変換できません。そのため、演題・抄録の登録はInternet Explorerは9以下で登録して下さい。

以上、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

(文責：山本英俊)

各研究班の研修会報告を致します。

テーマ 「知らなきゃ損！」 ～ 症例から学ぶ ～

主催 細胞検査研究班

実施日時：平成25年 4月26日 19時00分～21時00分

会 場：北浦和ターミナルビル・カルタスホール 点数：専門教科ー20点

講 演：きれいなギムザ染色

講 師：山崎 泰樹（獨協医科大学越谷病院）

< 症例検討 >

症 例 1：体腔液

講 師：日下 卓万（埼玉医科大学総合医療センター）

症 例 2：甲状腺

講 師：大木 麻衣（自治医科大学附属さいたま医療センター）

協 賛：武藤化学株式会社

参加人数：会員50名

出席した研究班班員：山崎泰樹 大澤久美子 大木麻衣 加藤智美 金守彰 三升畑奈穂
鶴岡慎悟 船津靖亮 宮内優太

研修内容・感想など

はじめに山崎技師から「きれいなギムザ染色」というテーマに基づき講義していただいた。ギムザ染色の基礎知識にはじまり、標本作製・染色方法・鏡検のポイントなど、日常検査に役立つ内容が盛りだくさんであった。特にギムザ染色では、塗抹後の冷風乾燥が大事とされているが、細胞量の多い場合は温風（低温）で急速に乾燥させる事により、細胞集塊の観察が分かり易くなる点が印象的であった。

次に日下技師から体腔液、大木技師から甲状腺の症例を提示して症例検討会が行なわれた。体腔液の症例は、小型で異型に乏しい細胞が出現している判断に苦慮する悪性中皮腫の症例であった。様々な所見に注目し、反応性中皮細胞との鑑別を詳細に解説していただいた。甲状腺の症例は、嚢胞性検体に出現した乳頭癌の症例であった。穿刺吸引検体では、限られた標本枚数あるいは、細胞採取量が僅かなため、細胞判定に苦慮する 경우가少なくない。ゆえに出現細胞の性状や特徴的な所見を理解し鏡検する事が重要である。今回の症例は砂粒小体を取り囲むように癌細胞が出現していた。これは嚢胞性乳頭癌との鑑別に有用な所見であり、ギムザ染色を活用する事で、より正確な判断に繋がると思われた。

今回の研修会がきっかけとなり、ギムザ染色の知識・興味が高まり、日常業務に役立つことを期待したい。

（文責：宮内優太）

テーマ **生理検査の「まずはこれを学べ！」講座 その1**
— これから生理検査に携わるすべての人に —

主催 生理検査研究班

実施日時：平成25年4月27日 15時00分～17時10分

会 場：自治医科大学附属さいたま医療センター 講堂 点数：専門教科－20点

講 師：心電図の基礎 正しい波形を録るために緊急報告が必要な波形とは？

宮原 広（羽生総合病院）

安全な患者移乘法を実演で学ぶベッドおよび車椅子での移し方

石田 泰樹、岸谷 圭祐（済生会 栗橋病院 リハビリテーション科）

参加人数：会員82名 非会員2名（学生）

出席した研究班班員：野本隆之 仲野浩 瀧沢教之 高梨淳子 早川勇樹 宮原広

田名見里恵 横尾愛

研修内容・感想など

今年度は、患者移乘法、心電図、肺機能、血ガス、接遇をテーマに4月、5月の連続企画としている。また、この時期は、意識的に新人教育を念頭に企画していきたいと考えている。

4月の最初の講演は心電図で、研究班員より宮原技師が初講演での担当となった。緊張しながらも一生懸命さが伝わる講演だった。テーマが広いため、浅めの内容となった。今後、ポイントを絞って原理や理論を現場に生かすための講演も企画していきたいと思った。そして、2つ目の講演は、生理検査では必ずつきものの患者移乗について、理学療法士を講師にお招きして実技中心に講演していただいた。患者様を安全に移動させる、介助するためのコツを、全員実習参加型で体験していただいた。非常に有意義な時間となったのではないだろうか。

今回、両講演とも初講演だったこともあり、課題もあった。1講演目はスライドの配色が薄く、ほとんど見えなかった。2講演目は、当日配布用の資料を用意していただけなかった。どちらも運営側としての反省点である。

次回から、このようなことが無いように努めたい。

（文責：野本隆之）

テーマ **基礎から学ぼう！尿沈渣**

主催 一般検査研究班

実施日時：平成25年5月24日 19時00分～21時00分

会 場：大宮ソニックシティ 906号室 点数：専門教科－20点

講 師：山本 英俊（株式会社 ビー・エム・エル総合研究所）

竹山梨枝子（白岡中央総合病院）

参加人数：会員105名 学生4名 非会員28名

出席した研究班班員：山本英俊 竹山梨枝子 深田茂則 小関紀之 川音勝江 室谷明子

山浦久 土屋貴絵

研修内容・感想など

今回は、尿沈渣検査の見方、考え方をテーマとして講演していただいた。まず山本技師からは、赤血球、白血球など、数枚の顕微鏡写真の提示の後、実際の業務の中で、どの様に考えながら検査を進めればよいか、総論的な本当の意味での「見方、考え方」の話が展開して行われ

た。患者情報等から何が推測できるのか、実際に尿沈渣にはどのような細胞が出現し、それはどこの組織由来なのか、など様々な情報を活用する事が大事であると思われた。特に組織において、その細胞はどの様に分化成熟して、組織を構築しているのかを意識する事が大事であるというコメントは、今まで意識していなかった見方であったので、大変参考になった。細胞の形だけにとらわれることなく、その細胞が取るであろう形態も意識して鏡検する事が大事であるという話を、アンパンマンをモチーフに分かりやすく、解説していただいたのが印象的であった。

引き続き、竹山技師からは「尿沈渣検査法2010」に基いた、各成分ごとの鑑別のポイントの解説があった。赤血球形態の鑑別や、各円柱の分類、報告形式など改訂されたポイントもしっかりと押さえられていた。研究班員として初めての60分の講演とあって、顕微鏡写真の準備等、苦勞していたようではあるが訥々とこなし、新会員の方にもわかるように話されていたのではないだろうか。今後の活躍に期待したい。

今回も数多くの参加を頂き、嬉しい限りではありますが、椅子の不足等でご迷惑おかけした方々にはお詫び申し上げます。来月以降も御参加頂けます様よろしくお願い致します。

(文責：山浦 久)

テーマ 凝固検査 Part 1 凝固検査の基礎から最近の話題

主催 血液検査研究班

実施日時：平成25年 6月 6日 19時00分～21時00分

会 場：大宮ソニックシティ 604号室 点数：専門教科ー20点

講 師：須永 宏行（株式会社 セキスイメディカル・カスタマーサポートセンター）

参加人数：会員83名 賛助会員 2名 学生 3名

出席した研究班班員：星孝夫 網野育雄 根岸永和 羽鳥浩司 田中正 橋口恵子 原誠則
圓田和人

研修内容・感想など

苦手な人にとっては何度聞いても難解な分野である凝固のメカニズム～症例まで丁寧に講演していただいた。

専門用語の解説から始まり、血清と血漿の違い、血友病・肝疾患・ビタミンK欠乏症など凝固異常をきたす疾患の解説の後、PTとAPTTの解説に移り、そのメカニズムから遭遇の可能性のある異常値について解説いただいた。ビタミンKが腸内細菌により合成されることから、抗生剤投与による異常値については処方を確認することで予測可能となるなど、日当直などの緊急の現場でも問い合わせが来る場合があるため、こうした研修会で何が考えられるか確認しておくことは大事なことだと痛感した。

また、クロスミキシング試験については、嚴重に遠沈して血小板混入を防ぐことと、APTT試薬の組成（リン脂質濃度）を知ることが大切で、症例としては、APTT試薬間差・ループスアンチコアグラントの量による比較などが示された。

最後に採血と検査値への影響について、標準採血法ガイドライン（GPA-A2）を交え採血管の取り扱いに至るまで説明があった。日頃採血の現場に携わっている技師も多い昨今「検査の始まりは採血にある」という基本に立ち返って、採血管およびその検査値を慎重に取り扱うべきであると締めくくられた。

(文責：橋口恵子)

埼臨技ひろば

第6回 サイトロンサーベイ 参加施設募集のお知らせ

平成25年度サイトロンサーベイを実施いたします。

今回は設問CD配布以外にクラウドを利用した新しいイノベーションによるサーベイ実施も試みたいと思います。

日常の検査技術のレベルアップに役立てられるよう、恒例の集計結果と解説報告会も実施いたします。

参加希望施設は下記連絡先へメールでお申し込み下さい（新規参加施設もどうぞご連絡下さい）。

参加費：無料

使用ソフト：バーチャル顕微鏡サイトロン

サーベイ実施項目：一般検査の尿沈渣及び髄液検査・穿刺検査、細胞診検査

申し込み先：○細胞診分野

河野 哲也（自治医科大学附属さいたま医療センター）

E-mail：tkawano@omiya.jichi.ac.jp

○一般検査分野

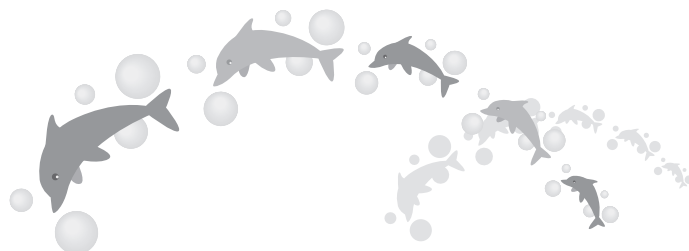
奈良 豊（埼玉医科大学総合医療センター）

E-mail：narachan@saitama-med.ac.jp

・件名は「第6回サイトロンサーベイ参加申し込み」とし、①施設名 ②所属部署
③住所 ④担当者名 ⑤電話番号 ⑥メールアドレスの6項目を正確に入力してください。

参加申し込み締め切り：平成25年7月31日

埼玉サイトロン研究会



**平成25年度
社団法人埼玉県臨床検査技師会
第3回 理事会議事録**

日 時：平成25年 6月13日(木) 19時00分より

場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家 7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出席者：砂川、神山、前原、矢作、岡田、奈良、
猪浦、長岡、伊藤、島村、松岡、小島、
高嶋、濱本、藤井、長澤、小関、茂木、
小山、山口、野瀬、細谷

Ⅰ. 行動報告(平成25年5月9日～平成25年6月12日)

5月9日(水)第2回理事会：

砂川、津田、神山、前原、矢作、
岡田、奈良、猪浦、長岡、伊藤、
島村、松岡、小島、高嶋、濱本、
藤井、長澤、小関、茂木、小山、
山口、野瀬、遠藤

5月10日(金)臨時3役部長会：

砂川、津田、神山、前原、岡田、
島村、高嶋、小関、山口、矢作

5月11日(土)理事・研究班学術関連合同会議：

砂川、津田、神山、前原、矢作、
猪浦、長岡、島村、松岡、小島、
高嶋、濱本、藤井、長澤、小関、
茂木、小山、野瀬、遠藤

5月17日(金)福見秀雄賞授賞式：

砂川、神山、前原、小島

5月22日(水)第42回埼玉県医学検査学会第7回
実行委員会：

奈良、松岡、濱本、長岡

5月25日(土)平成25年度日臨技定時総会：

砂川、津田、神山

5月29日(水)第1回検査室管理運営委員会：

高嶋、藤井

5月30日(木)決算処理：島村、松岡、小島

6月8日(土)群馬県臨床検査技師会創立60周年・

法人移行記念式典：

砂川、津田、神山

6月9日(日)第1回関甲信支部幹事会：神山

6月11日(火)公益法人移行事務：

神山、島村、細谷

6月11日(火)会計監査：

神山、島村、松岡、小島、遠藤、
細谷

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

- 1) 社団法人神奈川県臨床衛生検査技師会が6月3日付けで法人移行し、一般社団法人神奈川県臨床検査技師会となった。
- 2) 5月10日、臨時3役部長会を開催し、研究班運営マニュアルの一部改訂を行った。

2 総務部

- 1) 「埼臨技だより」第409号 6月15日発行

3 事業部

- 1) 5月29日、第1回検査室管理運営委員会を開催した。
- 2) 6月25日、第8回深谷市福祉健康まつりの第1回実行委員会開催予定
高嶋事業部長、濱本事業副部長、野瀬精度保証副部長が出席予定

4 学術部

- 1) 5月11日、学術関連合同会議を開催した。
- 2) 輸血実技研修会案内の発送漏れが発覚し郵送にて対応した。
- 3) 関甲信支部・首都圏支部合同一般検査研修会案内の配布
- 4) 8月9日生涯教育プログラム発行(6月15日発送予定)

5 精度保証部

- 1) 日臨技精度保証施設認証取得に関する調査アンケートについて(6月15日発送予定)
- 2) 都道府県技師会精度管理調査に関するアンケートについて

6 会計部

- 1) 日臨技より、25年度入会金25名分12,500円、正会員費141名分705,000円、合計 717,500

円の入金があった。

- 2) だより408号印刷代68,150円、総会議案書印刷代211,500円、合計279,650円を石井印刷に支払った。
- 3) 平成25年度会員管理システム保守料210,000円をエイチ・アンド・ティーに支払う。

7 精度管理委員会

- 1) 7月11日15時30分から埼玉県医師会精度管理委員会を埼玉県医師会にて開催予定

8 関甲信支部

- 1) 6月9日、第1回関甲信支部幹事会が開催された。

9 第42回埼玉県医学検査学会

- 1) 5月22日、第7回実行委員会を開催した。

Ⅲ. 承認事項

1 事務局

- 1) 会員動向（会費納入済）（平成25年度分）
会員数 2,226名
（新入会員75名・継続会員 2,143名・[平成24年度会員数2,256名]）
賛助会員 39社[平成24年度 69社]
平成25年6月7日現在
- 2) 関甲信代表者会議への出席について
日 時：平成25年6月22日(土)
会 場：都臨技事務所
出席者：砂川会長、津田副会長
- 3) 平成25年度第1回通常総会役員について
- 4) 平成25年度第1回通常総会時程表について

2 総務部

3 事業部

4 学術部

- 1) 血清研究班班員の欠員の補充について
117025 持田 和紀（深谷赤十字病院）

5 精度保証部

6 会計部

Ⅳ. 議事の経過の概要およびその結果

定款24条の規定により、会長 砂川進氏が議長となった。

事務局

1. 第43回埼玉県医学検査学会会長候補者の選任について

砂川会長より前回理事会からの継続審議であった標記の議案について、袴田博文氏を推薦したいとの発言があった。これを受け理事会審議の結果、出席理事全会一致で承認した。

2. 埼臨技のシンボルマークおよび会旗の作製について

砂川会長より標記の議案について発言があった。これを受け理事会審議の結果、出席理事全会一致で承認し、作製に関わる事案については総務部に一任とすることとした。

総務部

事業部

学術部

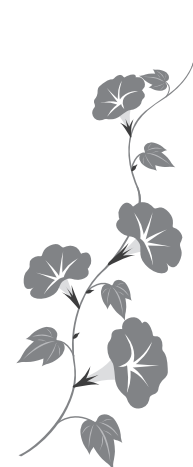
精度保証部

会計部

1. 平成24年度収支決算報告について

島村会計部長より標記の議案について発言があった。これを受け理事会審議の結果、出席理事全会一致で承認した。

その他



臨時職員(パート)募集 ▶▶

求人先 医療法人 博仁会 共済病院
採用人員 臨床検査技師
業務内容 生理検査(超音波検査できる方)
臨床検査全般
その他 尚、給与、雇用形態、採用期間、勤務時間、
交通費、社会保険等の詳細については連絡
先にて確認をお願いします。
連絡先 TEL 048-882-2867(内線1400)
(担当 検査科 植木)

正職員募集 ▶▶

求人先 JA埼玉県厚生連 熊谷総合病院
医療技術部 臨床検査科
採用人員 臨床検査技師
業務内容 検査業務全般
検体検査、生理検査、細菌検査、病理検査等
その他 尚、給与、雇用形態、採用期間、勤務時間、
交通費、社会保険等の詳細については連絡
先にて確認をお願いします。
連絡先 TEL 048-521-0065(内線2295)
(担当 人事担当 関口)

**お知らせ****埼臨技事務所夏季休暇について**

平成25年8月12日(月)～16日(金)まで事務所は
休みとなります。

あ と が き

みなさま、毎日の業務お疲れ様です。お忙しい日々を過ごされていることと思いますが、そんな多忙な日々のリフレッシュも兼ねて、プライベートでは趣味を楽しんでいる方も多くいらっしゃると思います。自分は?というと野球がそれに当たります。息子が小学生チームに入団したことがきっかけで指導者をさせていただいている関係もあり、約10年前から野球に携わることが多い週末を過ごしてきました。選手には、感謝の気持ちを忘れないこと・道具を大切にすること・挨拶をしっかりすることが大事だよと伝えることが多いのですが、それは全て自分にあてはまることです。口先だけにならないよう襟を正して月曜日を迎えねばと、今更ながら思う今日この頃です。



(長岡 記)